

(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	吉山 隆志	実践日	令和3年11月20日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	保健体育・保健		
対象生徒(学年等)	1年全員(各クラス)		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	ストレスの対処		
使用したアプリ等	Google スライド、Google Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	生徒が抱えるストレスは多種多様である。グループの中で共有し、その対処方法を具体化し、スライドを使って発表することで今後の生活に活かす。		

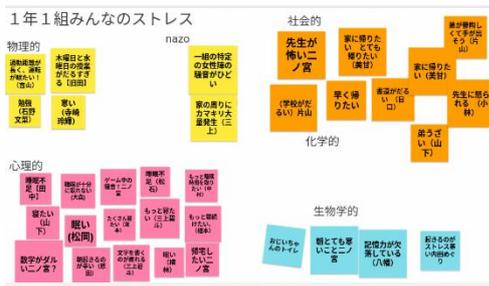
実践の内容

≪1時間目≫

- ①自分の身の周りにあるストレスについて明らかにし、クラス全員で共有している Google Jamboard でブレインストーミングをする。
- ②自分が抱えているストレスを分類化(物理的要因、化学的要因、生物学的要因、社会的要因、心理的要因)する。
- ③自分の抱えているストレスのストレスパターン≪①イライラ型(自己過信型)、②オドオド型(自信喪失型)、③クヨクヨ型(過去悔恨型)、④モンモン型(ミライ不安型)、⑤ヘトヘト型(疲労困憊型)、⑥ムカムカ型(人間関係誤解型)≫を明らかにする。
- ④それぞれのストレスに対する対処方法について、5枚程度のスライドを作る。
- ⑤未完成の部分を宿題にし、次回授業の前日までに提出させる。

≪2時間目≫

- ⑥3~4人のグループで発表を行い、各グループの代表者が全体に発表を行う。



- ⑦全体を通して気づいたことを振り返る (Google フォーム)。

参考となるHP等

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)